

# 単位取得可能な講演一覧

※リハビリテーション医学会の単位は、現地参加のほか、2024年7月1日(月)正午から7月31日(水)正午までのオンデマンド配信で、取得可能です。

## 【6月13日(木)】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ単位	現地のみ申請可	
						日整会単位	運動器単位
8:40～9:40	8	教育講演 9	健康寿命延伸のための回復期リハビリテーション病棟の役割	蓮井 誠	○	13,Re	
	11	教育講演 15	摂食嚥下障害 質の高い評価を目指して	前田 恭子	○		
10:00～11:00	6	教育講演 4	上肢運動麻痺のリハビリテーション治療～小児脳卒中後遺症の知見と取り組み～	山田 祐歌	○	8,Re	
	8	教育講演 10	小児希少疾患のリハビリテーション診療	原田 理沙	○	13,Re	
	11	教育講演 16	リハビリテーション病棟の管理	前田 寛文	○	13,Re	
11:20～12:20	6	教育講演 5	股関節疾患に対するリハビリテーション治療の意義と注意点～術前から術後まで～	平尾 昌之	○	11,Re	○
	8	教育講演 11	治療と仕事の両立支援 ～その意義と課題～	山徳 雅人	○		
	11	教育講演 17	片麻痺のバランス障害の評価と治療	網本 和	○		
12:40～13:40	1	ランチョンセミナー1	運動器の障害に対する拡散型圧力波を用いた体外衝撃波治療の基礎と臨床	津田 英一	○		○
	2	ランチョンセミナー2	リハビリテーション医療における定量的動作分析の役割と展望	長谷 公隆	○	1,13	
	3	ランチョンセミナー3	脊髄損傷患者に対する骨髄間葉系幹細胞療法の現状	福土龍之介	○	7,SS	
			脊髄損傷における再生医療後のリハビリテーション医療	佐々木雄一			
	4	ランチョンセミナー4	整形外科およびリハビリテーション医療で役立つ漢方薬	伊藤 友一	○	1,13,Re	
	8	ランチョンセミナー5	生活期における脳卒中片麻痺患者の装具療法～装具不適合と装具難民を救うために～	川手 信行	○		○
13	ランチョンセミナー6	慢性期脳血管障害患者における運動療法と運動直後のタンパク質摂取の併用効果	上條義一郎	○			
15:30～16:30	1	教育講演 1	肩腱板断裂に対するリハビリテーション治療	油形 公則	○	9,Re	○
	6	教育講演 6	高齢者へのサルコペニア対策	入澤 寛	○	1	○
	8	教育講演 12	脊髄損傷のリハビリテーション治療と医工連携	工藤 大輔	○	7,Re	○
	10	指導医講習会①-1	リハビリテーション医学・医療のプロフェッショナルとして心得ておくべきこと	角田 亘	○		
	11	教育講演 18	非侵襲的脳刺激法のリハビリテーション医療への応用	桐本 光	○		
16:40～17:40	10	指導医講習会①-2	高次脳機能障害のリハビリテーション医療	青木 重陽	○		
16:50～17:50	1	教育講演 2	精神科理学療法への期待～リハビリテーション医療の新たな領域～	荒川 英樹	○		
	6	教育講演 7	神経ネットワーク動性を促進する先端リハビリテーション治療	小金丸聡子	○	8,Re	
	8	教育講演 13	がんロコモ予防を目指した骨軟部腫瘍リハビリテーション治療～QOL評価と活動量の可視化に挑戦～	福岡奈津子	○	5,Re	○
	11	教育講演 19	状態予測に基づくリハビリテーション効果検証	鈴木 誠	○		
18:10～19:10	1	教育講演 3	急性期の積極的リハビリテーション治療を地域医療に拡大する～脳・神経疾患を中心に～	尾川 貴洋	○		
	6	教育講演 8	リハビリテーション医療に求められる包括的排尿管理	補永 薫	○	13,Re	
	8	教育講演 14	パラスポーツ(障がい者スポーツ)におけるメディカルチェックと安全管理	牛尾 会	○	2,S	○
	11	教育講演 20	上肢筋の活動特性と筋再教育	大山 峰生	○	8	○

## 【6月14日(金)】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ単位	現地のみ申請可	
						日整会単位	運動器単位
8:30～9:30	1	教育講演 21	アスリートを支える脊椎疾患マネジメント・腰椎分離症と黄色靭帯骨化症について	加藤 欽志	○	7,SS	○
	6	教育講演 28	脳とAIで拓く神経治療	牛場 潤一	○		

8:30 ~ 9:30	8	教育講演 29	住民検診から捉えるシルバーエイジの新たな視点：運動、認知機能、姿勢の三重奏	池上 章太	○	1	
	11	教育講演 36	リハビリテーション診療における栄養療法	冬賀 清香	○		
9:50 ~ 10:50	1	教育講演 22	骨粗鬆症と転倒リスク	永井 隆士	○	4	○
	8	教育講演 30	評価法を用いたこれからの障害児の生活期リハビリテーション医療について	杉山みづき	○		
	10	専門医共通講習会1 「医療制度と法律 (B)」	医療過誤事件のリスクと対応	片木翔一郎	○		
11:10 ~ 12:10	11	教育講演 37	反復性経頭蓋磁気刺激治療と組み合わせる理学療法	中山 恭秀	○	13	
	1	教育講演 23	運動器病理学に基づく変形性膝関節症の保存療法	稲垣 有佐	○	12	○
	8	教育講演 31	体外衝撃波治療事始め 基礎知識から臨床応用まで	見目 智紀	○	1	○
	10	専門医共通講習会2 「医療倫理 (A)」	医療倫理、意識していますか？	小林 一成	○		
12:30 ~ 13:30	11	教育講演 38	体性感覚機能の可視化と機能向上に向けたアプローチ	大西 秀明	○		
	1	ランチョンセミナー7	ボツリヌス療法を強化する標準的な生活期リハビリテーション手法の模索	三上 幸夫	○	13,Re	○
	2	ランチョンセミナー8	ジグリング (ゆすり) 運動を応用した上肢機能改善の検証	羽田 拓也	○	13,Re	○
	3	ランチョンセミナー9	血液がん“多発性骨髄腫”に対する集学的治療戦略 - リハビリテーション治療、栄養管理の重要性 -	鈴木 一史	○		○
	4	ランチョンセミナー10	困っている人を助けるアクセシビリティとは？	高尾 洋之	○		
			アクセシビリティの実際	高橋 宜盟			
	6	ランチョンセミナー11	脳卒中片麻痺上肢機能障害に対する Brain-Machine Interface を用いたリハビリテーション治療	藤原 俊之	○		○
			脳卒中後の上肢リハビリテーションにおける Brain-Machine Interface の可能性	竹林 崇			
8	ランチョンセミナー12	骨粗鬆症性脊椎疾患に対する薬物治療とリハビリテーション治療	柏川 雄司	○	7,13	○	
11	ランチョンセミナー13	装着型サイボーグ HAL アップデートと海外での活用事例	羽田 康司	○	13		
13:50 ~ 14:50	1	教育講演 24	周術期のリハビリテーション医療の実際～周術期の機能低下とその予防～	梅本 安則	○	13,Re	
	8	教育講演 32	筋電図でみえる 末梢神経の変性と神経再生	蜂須賀明子	○	8	
	11	教育講演 39	バイオメカニクスから見た下肢関節間トレードオフ	福井 勉	○	13	○
15:10 ~ 16:10	1	教育講演 25	回復期リハビリテーション病棟における認知症診療とリハビリテーション医療	末永 正機	○	13,Re	
	8	教育講演 33	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺の治療戦略	三浦 聖史	○		
	10	専門医共通講習会3 「臨床研究・臨床試験 (C)」	デジタル技術を活用した研究アウトリーチ活動	百崎 良	○		
	11	教育講演 40	ロボットを用いたリハビリテーション医療の新たな展開 - 歩行再建・介護予防・海外展開 -	大畑 光司	○	13,Re	○
16:30 ~ 17:30	1	教育講演 26	成人脊柱変形患者に対するリハビリテーション治療の現状と課題	大場 哲郎	○	7,Re	○
	8	教育講演 34	神経・筋疾患のリハビリテーション医療・医学	西田 大輔	○	8,Re	
	10	専門医共通講習会4 「医療安全 (A)」	医療安全 基本的な考え方とその実践 (インシデントレポートの活用)	辰濃 尚	○		
	11	教育講演 41	理学療法士は患者のアウトカムをどの程度改善できるか	赤坂 清和	○	13	
17:50 ~ 18:50	1	教育講演 27	森林医学とリハビリテーション医学	李 卿	○		
	3	スポンサードセミナー2	リハビリテーション科における経縮治療 ～ITB 療法の位置づけを考える～	山上 大亮	○	13,Re	
	8	教育講演 35	運動器疾患に精神疾患が併存する例での運動療法の試み	田村 吏沙	○	13	○
	10	専門医共通講習会5 「医療福祉制度 (B)」	医療福祉制度	船越 政範	○		
	11	教育講演 42	高齢がん患者のフレイルとリハビリテーション治療	井上順一郎	○	13,Re	○

## 【6月15日 (土)】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ単位	現地のみ申請可	
						日整会単位	運動器単位
8:30 ~ 9:30	1	教育講演 43	回復期リハビリテーション病棟での脳卒中患者が有する心疾患について	辻川 将弘	○		
	6	教育講演 51	「病気を診ずして病人を診よ」に向けた統合的アセスメントと脳を育むアプローチ	竹内 正人	○		

8:30 ~ 9:30	8	教育講演 58	小児悪性骨軟部腫瘍のリハビリテーション治療	青木 昌弘	○	5.Re	○
	11	教育講演 65	脳卒中後上肢運動障害における人とテクノロジーの協業について	竹林 崇	○		
9:50 ~ 10:50	1	文化講演	これからの医療～社会的共通資本から考える～	占部 まり	○		
	6	教育講演 52	「参加」のリハビリテーション医療とは？リハビリテーション科医によるソーシャルキャピタルの使い方、そして作り方	田邊 望	○		
	8	教育講演 59	がん診療の変遷とがんのリハビリテーション診療	宮田知恵子	○	13.Re	
	10	教育講演 91	トリプル改定の光と影	岡本 隆嗣	○		
	11	教育講演 66	運動機能回復メカニズムの解明を目指して～脳損傷サルモデルを用いた実験的研究～	村田 弓	○		
11:10 ~ 12:10	1	教育講演 44	リハビリテーション科医とものづくり 医工学融合研究の可能性	清水 如代	○		
	6	教育講演 53	肝臓のリハビリテーション治療 これまでの取り組みとこれからの課題	橋田 竜騎	○		
	8	教育講演 60	院内転倒対策におけるリハビリテーション診療の役割	佐藤 紀	○	1.Re	
	10	専門医共通講習会6「感染対策 (A)」	日常診療における感染対策のキーポイント	中澤 靖	○		
	11	教育講演 67	脳卒中患者の麻痺側上肢機能回復のための反復性経頭蓋磁気刺激と作業療法計画	濱口 豊太	○		
12:30 ~ 13:30	1	ランチョンセミナー14	治療環境および適応症例像からみたボツリヌス治療の最適化	内山 侑紀	○	13.Re	○
	2	ランチョンセミナー15	視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD) のリハビリテーション治療と医療連携	池田 順子	○		○
	3	ランチョンセミナー16	知って欲しいリハビリテーション訓練効果向上のための栄養療法～経腸栄養剤再考～	寄本 恵輔	○		
	4	ランチョンセミナー17	理学療法士が考える骨粗鬆症治療の多職種連携と地域連携	田中 暢一	○	4.Re	
	6	ランチョンセミナー18	テクノロジーとリハビリテーション医療の構造化	田中 雅博	○		
	8	ランチョンセミナー19	膝骨切り術におけるスマートフォンデバイスを用いた患者教育～医療従事者の業務負担軽減と患者満足度向上を目指して～	五嶋 謙一	○	13.Re	○
	11	ランチョンセミナー20	シン・人工関節患者のリハビリテーション治療～スマホを使った患者教育と Activity Pacing ～	和田 治	○		
	13	ランチョンセミナー21	脳卒中上肢機能障害に対する 新しいリハビリテーション治療	藤原 俊之	○		○
	13	ランチョンセミナー21	末梢磁気刺激のリハビリテーション治療への応用	補永 薫	○	8,13.Re	
13:50 ~ 14:50	1	教育講演 45	関節リウマチに対するリハビリテーション治療の cutting edge	遠山 将吾	○	6.R	○
	6	教育講演 54	回復期につながる脊髄損傷のリハビリテーション治療～整形外科の視点から～	高橋 藍	○	7.Re	○
	8	教育講演 61	血友病のリハビリテーション治療：今までとこれから	田澤 昌之	○		○
	11	教育講演 68	理学療法の実践をサポートする行動制御モデル活用のすすめ	藤澤 宏幸	○	13	○
15:10 ~ 16:10	1	教育講演 46	回復期における脳卒中後の麻痺、ADL の帰結予測とその活用	岡崎 英人	○		
	6	教育講演 55	嚥下障害～新たな発見と臨床応用	國枝顕二郎	○		
	8	教育講演 62	地方公立総合病院における急性期リハビリテーション医療：現状と課題	佐々木裕介	○		
	10	専門医共通講習会7「地域医療 (B)」	百戦錬磨の私から見る地域医療で最も大事なこと	杉本 淳	○		
	11	教育講演 69	F 波波形分析から考える運動機能評価	鈴木 俊明	○		
16:30 ~ 17:30	1	教育講演 47	股関節疾患・手術のリハビリテーション診療	神野 哲也	○	11.Re	○
	2	教育講演 49	楽しさを見つける旅 回復期リハビリテーションの喜びと楽しみ	和田恵美子	○		
	6	教育講演 56	神経・筋疾患における難病のリハビリテーション医療	遠藤 寿子	○	8.Re	
	8	教育講演 63	脊髄損傷のリハビリテーション治療の最前線 ～急性期から社会復帰への治療戦略～	林 哲生	○	7.Re	○
	10	指導医講習会②-1	高次脳機能障害に対する外来診療	渡邊 修	○		
	11	教育講演 70	自閉スペクトラム症の患児がもつ感覚・運動障害へのアプローチ	岩永竜一郎	○		
17:40 ~ 18:40	10	指導医講習会②-2	回復期リハビリテーション病棟における指導医の役割	武原 格	○		
17:50 ~ 18:50	1	教育講演 48	変形性膝関節症～その予防に向けての再生医療・医療機器開発～	石川 正和	○	12	○
	2	教育講演 50	代謝疾患の運動療法 up to date	小川 佳子	○		

17:50～18:50	6	教育講演 57	パンデミック時代におけるパーキンソン病診療	乙宗 宏範	○		
	8	教育講演 64	小児を専門とするリハビリテーション科医の考えていること、 目指しているもの ～本州最北端で積んだ経験から～	青木 恵	○		
	11	教育講演 71	アルツハイマー病の IADL・ADL 障害のリハビリテーション治療	田平 隆行	○		

## [6月16日(日)]

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ 単位	現地のみ申請可	
						日整会 単位	運動器 単位
8:30～9:30	1	教育講演 72	救急医療におけるリハビリテーション治療	酒井 朋子	○		
	6	教育講演 76	総合病院・回復期リハビリテーション病棟における精神疾患合併患者へのリハビリテーション治療	中村 智之	○		
	8	教育講演 81	神経・筋疾患および脊髄損傷に対する呼吸リハビリテーション	山本五弥子	○	7.8,Re	
	11	教育講演 86	リハビリテーション治療のアウトカムと QOL 評価	能登 真一	○	13,Re	
9:50～10:50	1	基調講演	人生 100 年時代 ～健康長寿と幸福長寿の両立を目指すために～	飯島 勝矢	○		
	6	教育講演 77	リハビリテーション治療への Virtual reality (VR) 活用と導入方法	中原 康雄	○		
	8	教育講演 82	小児分野でリハビリテーション科医師として働くための基礎知識	門野 泉	○	13,Re	
	11	教育講演 87	脳卒中患者に対する上肢機能評価と臨床への応用	伊東 寛史 坂本 大悟	○		
11:10～12:10	1	教育講演 73	転移性骨腫瘍診療におけるリハビリテーション治療 ～骨転移ボードを通じた集学的アプローチを中心に～	秋山 達	○	5,Re	○
	6	教育講演 78	肺移植と包括的呼吸リハビリテーション医療	高橋 諒	○		
	8	教育講演 83	急性期病院退院後における在宅医療の課題	大洞佳代子	○		
	9	専門医共通講習会 8 「両立支援 (B)」	治療と就労の両立支援	竹川 徹	○		
	11	教育講演 88	MRI を利用した脳機能・構造解析のすすめ	妹尾 淳史	○		
12:30～13:30	1	ランチョンセミナー 22	地域医療におけるリハビリテーション科医の役割と育成 ～沖縄での試み～	田島 文博	○	13	
	2	ランチョンセミナー 23	文京ヘルスタディーで明らかとなった高齢者の歩容： スマートフォン歩容評価アプリ「フィジカルテ」	田村 好史	○	13,Re	○
	3	ランチョンセミナー 24	ここがポイント！便通異常症診療ガイドライン 2023 の薬物治療 ～IBAT 阻害剤と PEG 製剤を中心に～	中島 淳	○		
	4	ランチョンセミナー 25	新たな認知症治療薬を見据えた認知症の早期診断と進行予防	新井 哲明	○		
	8	ランチョンセミナー 26	運動器疼痛に対する治療戦略	住谷 昌彦	○	8,13	○
	13	ランチョンセミナー 27	筋ジストロフィーのリハビリテーション治療	西田 大輔	○		
13:50～14:50	1	教育講演 74	脊髄・四肢機能の客観的評価 ～神経生理学的手法や動作解析による評価～	中西 一義	○	1	○
	6	教育講演 79	周術期管理センター (PERIO) 開設から 15 年 ～快適で安全、安心なリハビリテーション医療を目指して～	堅山 佳美	○	13,Re	
	8	教育講演 84	進行がん患者に対するリハビリテーション医療の現状と課題 ～フレイル外来での取り組みを通して～	勝島 詩恵	○	13,Re	
	11	教育講演 89	理学療法評価と治療に活用する脳画像のみかた	阿部 浩明	○		
15:10～16:10	1	教育講演 75	次世代を担う若手医師と創るリハビリテーション診療 - 日常 診療をまるごと教育の場～	沢田光思郎	○		
	6	教育講演 80	病院から地域へ - リハビリテーション科医の活動の展開 -	大西 康史	○		
	8	教育講演 85	安静病床の弊害と離床・運動の意義	西山 一成	○	1	○
	11	教育講演 90	介護保険を利用する高齢者のリハビリテーション評価としての 体組成	久保 晃	○	1,Re	